
【隔】週刊「74歳が送る農業文化マガジン『電子耕』」号外（20.2号）

--農業・健康・食・図書・人物情報--

<http://nazuna.com/tom/denshico.html>

1999.11.23（水曜）発行 東京・ひばりヶ丘 原田 勉

<mailto:tom@nazuna.com>

*****発行部数 1297+46 部*****

★号外企画（応募期間延長のお知らせ）

応募期間が短すぎたようなので 11/26 夜 12 時まで延長します。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
☆ 『電子耕』第20号配信記念読者プレゼント ☆
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

なんとか20号まで発行できました。みなさん、ありがとうございます。
感謝を込めてプレゼントを企画しました。
今回は東京エリア対象で申し訳ありません。
（全世界対象？の『電子耕』アンケートプレゼントは、只今準備中です）

◆プレゼント

劇団文化座12月東京公演「祭りはまだか」チケット

抽選で2名1組様ないし1名様つつ計2名様へプレゼントします。

-----◆「祭りはまだか」口上◆-----

時は文久二年、西洋の暦にして一八六二年、徳川の泰平の眠りを覚ました驚天動地のペリー来航より九年が経っております。この間、攘夷派の台頭あり、井伊大老の安政の大獄に始まる弾圧ありとまあ、大変な騒ぎです。更に桜田門外を始めとして攘夷派によるテロ行為の頻発、京洛の巷では天誅の名の下に毎日のように血刃がふるわれまして、実に物騒なことこの上なし。世はまさに、尊王攘夷・佐幕開国・公武合体と各派入り乱れ、史上かつてない騒乱混迷の中にございました。

そんな風雲急を告げる中、品川の遊郭に若き日の高杉晋作が流連しておりま

した。高杉晋作さんといえば、長州藩奇兵隊初代総督として、維新回天の立役者の一人となった歴史上のヒーローでございますが、そうになりましたのは後の話、この時はまだ二十四歳、一介の書生の身分。自らの進む道を模索しながらも、酒と女に明け暮れ、遊郭に入り浸る毎日を送っていたのでございます。藩の御用金を掠め取るのも当たり前、親や上司の目を盗み、ぐーたらと放蕩三昧の日々を送っております。

ではありますが、英雄のきらめきをチラチラッと垣間見せるこの高杉さんの元には何人かの似たような仲間が集ってまいりました。その中には、後の明治政府のおエライさん、伊藤俊輔（初代総理大臣伊藤博文）や、井上聞多（元勲井上馨）といったところも居たのでございます。彼らも志士を気取り、攘夷を声高に叫んでいたのですが、その実は高杉とつるみ、青春の鬱屈を酒と女で発散させている、というに過ぎなかったのでございます。

ある晩夏の日、相変わらず無為な一夜を過ごし、朝を迎えた高杉や若き同志たちの元に、生麦事件の一報が入ります。生麦事件とは薩摩藩士による英国人殺傷事件のことでございますな。ライバルの薩摩に先を越され、「いざ、攘夷」とばかり、若者たちは躍起となります。ところが、思わぬ邪魔が入り……。さてこの後は劇場でのお楽しみ。

面白きこともなき世を面白く、と足掻き続ける若者たち。人生の祭りを待つ彼らの焦りと望みを飲み込んで、またまた品川の夜は更けていく……のであります。

祭りはまだか。乞う、御期待！



◆応募方法

- 題名を「プレゼント希望」ととし、
- ・鑑賞希望公演の日と回、枚数（2枚まで）
- 第2希望までご記入ください。

開演時間

- 12月10日（金）午後 7：00
12月11日（土）午後 2：00 午後 7：00
12月13日（月）午後 2：00

12月14日（火）午後7:00

12月15日（水）午後2:00 午後7:00

12月16日（木）午後7:00

12月17日（金）午後7:00

*恐れ入りますが12/12・12/18・12/19 楽日公演は満席です。

・『電子耕』の感想・要望、あるいは現在の関心事

・Eメールアドレス を明記し、

tom@nazuna.com 宛にお申し込みください。

mailto:tom@nazuna.com

◆締め切り11/26（金曜）午後12時まで。

*全席自由ですが、120席余（前回300席とお伝えしましたが、今回はゆったり座れる120席のセッティングだそうです。）の小劇場

（文化座アトリエ＝普段は稽古場）

<http://bunkaza.com/atelier.html>

（JR・地下鉄南北線駒込駅 JR・地下鉄南北線駒込駅・JR田端駅
両駅とも徒歩十二分）ですので臨場感たっぷりです。

脚本の鳥海二郎さんは、普段は文化座の営業部門たる制作部の一員で、今回舞台デビュー作となります。平成九年度文化庁舞台芸術創作奨励特別賞を受賞した作品ですが、この特別賞とはこの分野の最高位の賞で、年によっては該当作品が無い権威ある賞だそうです。

鳥海さんは、学生時代、

「太陽にほえろ！」

http://www.yahoo.co.jp/News/Television/Shows/Dramas/Cop_Shows/Taiyou/

などの脚本家 小川英さん（注*）に師事し、「遠山の金さん2」（1985-1986）で1本テレビ脚本デビュー作がありますが、堅実にソフトウェア会社に就職、サラリーマンを経て思うところあり近年文化座に転職したひとです。

ロマンの血が騒いだのでしょうか？

（*テレビドラマデータベース

<http://www.asahi-net.or.jp/~RM1Y-FRSK/>

のテレビドラマ全文検索

<http://www.qzc.co.jp/DRAMA/>

スタッフ項目に「小川英」を入れると 84 件でてくるテレビ脚本家（故人）

■■■■■ （社）日本劇団協議会主催 創作劇奨励公演 劇団文化座制作
■■■■□ 平成九年度文化庁舞台芸術創作奨励特別賞 受賞作
■■□□ 世紀末の田端にこだまする幕末青春鬱屈伝 新しい時よ来たれ！
■□□□ ◇◇◇「祭りはまだか」◇◇◇
□□□□ 鳥海 二郎 作 佐々木 雄二 演出
□□□□ 1999 年 12 月 10 日(金)～19 日(日)東京・田端・文化座アトリエにて
□□□□ <http://bunkaza.com/>

■劇団文化座マスコミ出演情報

<http://bunkaza.com/media.html>

から抜粋

米山実 NHKラジオ第一 11月16日(火)～11月29日(月)まで
の月曜日～金曜日の全10回(放送中)
AM11:33頃(AM11:30のニュースの後)から
約10分～15分間
私の本棚「ボタニカル・ライフ」

<http://www.famousdoor.co.jp/seiko/bot/bot.html>

いとうせいこう作「ボタニカル・ライフ」の朗読

鈴木光枝

<http://bunkaza.com/SUZUKI-MITUE.html>

佐々木愛

<http://bunkaza.com/SASAKI-AI.html>

NHK総合テレビ 土曜ほっとワイド「人生いきいき」
12月4日(土) AM9:15～10:00(予定)

<「電子耕」原稿・投稿募集>

このメルマガは読者の意見交換を一つの目的にしています。

「キーワード」の趣旨にそった投稿を募集しています。

- 1、庶民の歴史としての「自分史・父母の歴史」「エッセイ」
- 2、農業・文化について、健康・食についての情報など。
- 3、字数は一人1回500字から1000字くらい。メールで送って下さい。
掲載するときのペンネームも添えて下さい。
- 4、投稿<読者の声>は原則としてこのメルマガに掲載します。掲載は困る方は「掲載しないで」と明記して下さい。また、原稿料は差上げられませんので、ご了承ください。単行本などにするときは完成した本は差上げますが、原稿料は支払えませんのでご了解下さい。

編集責任者 原田 勉

●（投稿メールは原則として<読者の声>に掲載します。都合の悪い方は「載せないで」と明記して下さい。ペンネームの無い方は姓だけで載せますので、ご了承ください。内容は自己責任でお願いします）

●メール送付の際のご注意案内↓

<http://nazuna.com/tom/denshico.html#mail>

■山崎農研発行の書籍のご案内

http://www.taiyo-c.co.jp/yamazaki/yama_books.htm

●協力をいただいているサイト紹介コーナー

「農文協ルーラルネット」

<http://www.ruralnet.or.jp/>

「山崎農業研究所」

http://www.taiyo-c.co.jp/yamazaki/yama_frame.htm

「劇団文化座」

<http://bunkaza.com/>

ここまで読んでいただきありがとうございました。

■ご意見・ご感想は、Eメール

mailto:tom@nazuna.com

または、電耕掲示板

<http://www62.tcup.com/6201/tom.html?>

までお願いします。

■バックナンバーは、

<http://nazuna.com/tom/denshico.html>

のなかの「★バックナンバー」のそれぞれの号番号をクリックすると
読めます。

『電子耕』は、2つのルートで配送しております。

『まぐまぐ(ID=14872)』

<http://www.mag2.com/>

『Macky !』

<http://macky.nifty.ne.jp/>

SPECIAL THANKS to INTERNET JAH

<http://www.jah.ne.jp/>

【隔】週刊「74歳が送る農業文化マガジン『電子耕』」号外（20.2号）

--農業・健康・食・図書・人物情報--

バックナンバー・購読申し込み/解除案内

<http://nazuna.com/tom/denshico.html>

1999.11.23（水）発行

東京・ひばりヶ丘 原田 勉

mailto:tom@nazuna.com

*****発行部数 1297+46 部*****